

科目名：哲学特論Ⅲ／ Philosophy(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：前期 火曜日 5講時

学期：1学期， 単位数：2

担当教員：直江 清隆、城戸 淳、荻原 理（教授）

講義コード：LM12506， 科目ナンバリング：LIH-PHI603J， 使用言語：日本語

【(平成30年度以前入学者) 対応科目名： 哲学特論Ⅲ】

1. 授業題目：

比較哲学入門

2. Course Title (授業題目)：

Comparative Philosophy

3. 授業の目的と概要：

比較哲学とは、異なった文化や伝統に基づく諸哲学を比較すること、あるいはその比較に基づく哲学である。とりわけ、西洋哲学と東洋哲学との比較に基づいて、東西の思想的な異同を探究し、世界的な哲学を模索することが課題となることが多い。

この講義では、客員准教授のキアラ・ロブビアーノ (Chiara Robbiano) 氏 (ユトレヒト大学) を講師に迎え、数回の講義をしてもらう。その後は、哲学専攻分野の教員によるリレー講義によって、多彩な観点から比較哲学の方法と実践を示す。

4. 学習の到達目標：

比較哲学の方法と実例を学ぶ。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 問題提起と導入
- 2 Comparative Philosophy of Being and Nothing, Lecture 1 (Robbiano)
- 3 復習と今後の準備
- 4 Comparative Philosophy of Being and Nothing, Lecture 2 (Robbiano)
- 5 Comparative Philosophy of Being and Nothing, Lecture 3 (Robbiano)
- 6 Comparative Philosophy of Being and Nothing, Discussion (Robbiano)
- 7 比較哲学 古代編1 (荻原)
- 8 比較哲学 古代編2 (荻原)
- 9 比較哲学 古代編3 (荻原)
- 10 啓蒙と中国哲学 (城戸)
- 11 カント、ショーペンハウアーとインド哲学 (城戸)
- 12 西田幾多郎とギリシア哲学 (城戸)
- 13 ドイツ哲学の移入と日本哲学の成立 (1) (直江清隆)
- 14 ドイツ哲学の移入と日本哲学の成立 (2) (直江清隆)
- 15 ドイツ哲学の移入と日本哲学の成立 (3) (直江清隆)

6. 成績評価方法：

期末レポートによる。

7. 教科書および参考書：

授業中に紹介する。

8. 授業時間外学習：

紹介した文献等を各自で読むこと。期末レポートではみずから課題を設定して、比較哲学の実践を提示すること。

9. その他：なし